

科目ナンバー	MAN-A-2-06		
科目名	中小企業論入門		
担当者	許 伸江		
開講期	2021年度 秋学期	科目区分	週間授業
履修開始年次	1	単位数	2.0
曜日/時限	金曜2限	教室	
授業題目	日本の中小企業の現状と役割		
授業の達成目標	本講義は入門であるため、日本経済における中小企業の役割についてまず理解することを目的とする。そして、なぜ中小企業論を学ぶのか、中小企業論とは何を学ぶことなのかを理解し、中小企業の現状と課題は何であるかを説明できることを目標とする。		
今年度の授業内容	日本経済における中小企業の役割、中小企業の歴史、現状、今後の展望について、理論的・実証的・政策的に分析する。		
自習に関する一般的な指示事項	日ごろから新聞、ニュース、書籍などで、中小企業の情報に敏感になることが望ましい。気になった内容は、メモを取る習慣をつけること。		
授業スケジュール			
第1回	ガイダンス(授業の進め方の説明)とイントロダクション(なぜ中小企業論を学ぶのか)		
第2回	中小企業の定義(量的・質的定義、および海外との比較)		
第3回	中小企業の類型		
第4回	中小企業の構造的特徴(事業所数の推移、開業数と廃業数の推移など)		
第5回	ケース・スタディ		
第6回	中小企業の問題性と貢献性		
第7回	中小企業の労働問題		
第8回	ケース・スタディ		
第9回	中小企業と下請制		
第10回	中小企業の存立分野(産業構造の変化、グローバル化など)		
第11回	中小企業と産業集積(地域経済との関係)		
第12回	中小企業のマネジメントの特徴		
第13回	中小企業金融		
第14回	中小企業と政策		
第15回	まとめ: 中小企業の課題と展望		
授業の運営方法	講義形式。適宜、授業内小レポートの提出あり。映像資料も使用する。 遠隔授業日は、teamsにアップロードする資料をもとに、リアクションペーパーの提出をする。それをもって出席とする予定。		
成績評価の方法 ※次の評価基準・割合に基づき評価されます。			
評価の種類	割合(%)	評価基準、評価方法	
定期試験	0	実施しない	
小論文・レポート	90	中間レポート(40%)と期末レポート(50%)の合計で90%。	
授業参加	0	なし	
その他	10	リアクションペーパーの内容	
テキスト	適宜、資料を配布します。		
参考文献	『現代中小企業論』高田良爾ほか、同友館、2009年 ISBN: 978-4496047589 など		
関連ページ			
	遠隔授業日は、teamsにアップロードした授業資料を見て、リアクションペーパーを提出すること。それをもって出席とする予定。		

その他、履修生への注意事項	履修者には、授業前にteamsのコードを伝えるので、遠隔授業の日はteamsにアクセスコードを入力してチームに参加してください。
実務経験のある教員による授業科目(令和2年度から該当科目に記載されます)	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	